自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念は玄関・ホールに掲示している。職員は業務の中で迷った時に理念を思い出し、ケアが理念に沿っているかを判断材料の1つとして活用している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご利用者様のご友人や近隣住民の方が自宅で育てられた野菜や果物を差し入れして下さる。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	昨年の夏に曾於市役所主催のサマーボランティアで財部在住の高校生3名を受け入れて2日ずつ活動された。また、近隣住民が集まる場所で認知症や施設について話をさせて頂ける機会を得て、内容を主催者と調整中ですが、住民の疑問等を解消して、認知症への理解を深めてもらえるようにしたいと考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所からの報告に対しての意見や要望を遠慮や気兼ねなく出して頂き、サービス向上出来るように話し合いを行い、サービス提供に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	随時、電話やメールでのやり取りを行い、市役所の担当者から指導や助言をもらうなどの協力関係を築けるように努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会を行い、身体拘束しないで対応できる代替案を職員間で検討して取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	隔月で虐待への自己点検やチェックを行い、高齢者虐待について勉強会で、日頃のケアを振り返り、虐待に繋がる言動を職員がお互いに注意し合え見過ごさない環境づくりに努め、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利について考え・学ぶために権利擁護の勉強会を開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については、入所時に不安なく理解・納得して頂けるように、ご利用者様・ご家族様が満足されるまで不足のない説明を心掛けている。改定などは文章にて通知して不明な点は連絡していただき、理解・納得して頂けるよう説明を繰り返し行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様は面会や電話でのやり取り、毎月手紙での近況報告を行い、ケアの方向性や相談を話し合っている。 運営推進会議の意見聴取を行い、率直なご意見やご要望を伺っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りで言えない意見や考えを聞く機会をミーティング時に設け、さらに玄関には職員用の意見箱を設置している。 多くの職員は個別に管理者へ報告・相談しており、日頃から意見交換をしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個人の勤務状況を把握して、自己研鑽の為の研修参加や勤務希望・有給取得など可能な限り調整して、各個人のモチベーションが維持できるように努めている。また、子育て中の職員は可能な範囲での勤務をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各個人の有資格や技量を把握し、本人が希望する研修や必要な研修には参加できるよう調整している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	曾於市の認知症ホームの会やケアマネ協議会へ参加し、研修会や研修調整などの機会に情報交換やネットワーク作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始から施設での生活に慣れて頂けるまでは、こまめに声掛けを行い、お一人で不安にならないように配慮している。また、職員が会話の橋渡しを行い、利用者様同士が仲良くして頂けるように支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前よりご利用者の状態や困りごとの確認を行い、施設入所の不安軽減や入所後の要望について伺い、ご利用者を安心して預けて頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前よりご利用者の状態や困りごとの確認を行い、必要に応じて在宅での支援方法や入所の必要性について話し合いを行っている。また、本人様の状態やご家族様の状況に応じて他サービスの紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者の残存機能や生活歴を本人様より伺い、職員もご利用者から学ぶ姿勢を持ち、無理のない範囲で軽作業への参加を促して、ご利用者が介護されるだけの立場にならない関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙に本人様の状況報告を行い、本人様の要望がある時にはご家族様へ電話や面会・外出をして頂くなど関係が維持できるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の要望がある時には、ご家族様の協力を得て、電話や面会をして頂くなど関係が希薄にならないよう努めている。また、ドライブで馴染みの場所を通ったりしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用様同士の関係性を把握して、感染症対策を行いながらもご利用者様同士が関わり合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で契約終了した後も転院や他施設入所時にはご家族様に確認後、必要な情報提供を行っている。また、亡くなれば契約終了した後もご家族様と連絡を取り合い、相談に応じて必要な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や声掛けの返答・反応から意向や要望を聴取・推察し、本人様の思いや意向に寄り添ったケアや支援を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族様との会話や入所前に利用していたサービス事業所からの情報提供から、これまでの本人様の生活歴や生活習慣などを把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の心身の状態確認を行い、残存機能を活かして無理することなく本人様のペースで過ごして頂けるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様・ご家族様・職員・主治医それぞれよりモニタリングを行い、その際にそれぞれの立場からの意見を聴取・反映して、本人様の意向に沿った計画を作成できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきを個別のケース記録に記入し、申し送りやミーティング内で職員間の情報共有をしている。その内容を支援経過に残し、介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所前に日中のお試し利用など本人様やご家族様の状況や状態に応じて、必要な支援を既存のサービスに捉われない柔軟に対応することで個別性に富んだサービスの提供に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症対策の影響で地域資源と協働することが未だに難しくあるが、地域資源の把握は常に行い、必要や状況に応じて協働できるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関をかかりつけ医として事業所と信頼関係の構築に努め、必要時に適切な医療を受け入れられるように支援している。かかりつけ医は本人様及びご家族様の希望を尊重しており、協力医療機関以外をかかりつけ医としている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は関わりの中での情報や気づき・異変を看護師に報告・相談して、ご利用様が適切な看護・処置・医療機関の受診を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時はケアマネが入院先の看護師やソーシャルワーカーと連携して、安心して治療を受けられ、できるだけ早期に退院できるように努めている。 感染症対策のため医療機関側より面会を制限されていることもある為、定期的に電話連絡を行い情報交換や相談を行い、関係構築に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症化した場合は、事業所で対応可能な範囲の支援を本人様やご家族様へ説明し、終末期の意向とともに確認を行う。状態変化時には、その都度意向の再確認、協力医療機関へ相談することで、方向性や支援方法の情報共有を行い、チームでの支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変や事故発生時に備えて、応急処置や初期対応の勉強会や訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は実際に通報から避難終了まで一連の流れを行い、消防署へ報告し、指導や助言を頂いている。管理者が地域の消防団に所属し、避難時の協力体制を構築している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の誇りや自尊心を傷つけない関わり・声掛けを心がけ、知り得た情報は職員間の共有に留め、ケア提供時も含めて、プライバシー侵害にならないように努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で声掛けや反応、本人様の行動から確認・推察して本人様の思いや意向を表出し選択・決定出来るように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人一人のペースを大切にし、入浴や食事、就寝や起床時間など可能な範囲で希望に沿えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えの準備を一緒に行ったり本人様の希望があれば、職員のボランティアにて散髪するなど、利用者様自身で選択されるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜や果物を一緒に下拵えしたり、本人様の嗜好や咀嚼・嚥下状態に合わせた形態で提供し、職員も一緒に食べるなど、楽しい雰囲気の中で食事できるように努めている。また、無理のない範囲で下膳や片付けを職員と一緒にやっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人の状態・習慣、嗜好に配慮して、食事や水分の内容・形態、提供量を調整して、1日を通して必要量を摂取してもらえるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各個人の状態に合わせた道具を使用して、声掛けや介助にて行っている。毎晩義歯洗浄剤を使用して洗浄して口臭予防に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、定期的に声掛けや介助にてトイレでの排泄を促し、パッド内での排泄軽減に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、申し送り時に職員間で情報共有して十分な水分摂取や繊維質の食事摂取を促し、運動や腹部マッサージを行い、トイレでの自然排便を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の状態や希望、タイミングに合わせて入浴して頂いているが、嫌がられる時は時間や日にちをずらしたり、職員を代えて声掛けするなど工夫して支援している。 ご利用者の希望があれば、入浴剤や本人様持ちのシャンプー等を使用している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各個人の状態や習慣に合わせて休んで頂いている。また、食後など状況に応じて体位の調整を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬状を各個人のファイルに保管して、職員が必要時にいつでも閲覧できるようにしている。また、処方内容に変更や追加・中止があった場合は申し送りやノートを活用し情報共有をして異常や変化の早期発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の状態や残存機能に応じて、掃除や野菜の下拵えなど気分転換や楽しみ、役割として感じられるように職員と一緒に軽作業を行って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に苑庭や遊歩道の散歩、ドライブなどの外出を支援しており、ご利用者様の希望によってはご自宅への外出などご家族様の協力を得て、気分転換やストレス発散が出来るように支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の数名は少額の現金を所持して、安心感や満足感を得られている。紛失の恐れがあれば事業所管理をしており、本人様の希望時に使用できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者様の希望時や不安時に、ご家族様や知人・友人へ電話連絡を行っている。ご家族様の状況や状態によっては、必要に応じて手紙でのやり取りを支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の写真や作成物を掲示して季節感を感じてもらえるようにしている。また、天気や日没などに合わせて照明を調整したり、感染症対策で適宜換気を行う為、室温・湿度の調整に配慮している。天気の良い日は窓際などで日光浴など行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	感染症対策のため、他者との一定の距離を保ちながらも、関わりが維持できるように座席の配置を考慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様・ご家族様には、馴染みのある物や好みの物を施設内に持ち込み使用することで本人様が安心を得られて精神的安定へと繋がることを説明して、可能な範囲で本人様の馴染みの家具や寝具を持ち込んで頂き、居心地の良い環境作りに努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ・浴室などに手すりが設置してあり、事業所内はほとんど段差がなく、ご利用者が安全で自由に動ける環境になっている。また、私物など設置する際は、行動を制限しないように安全に配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない